

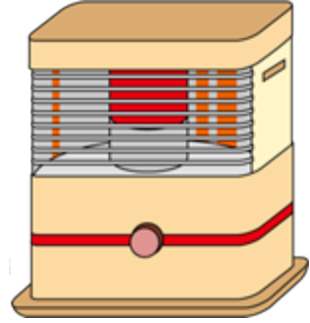


製品事故から高齢者を守る！

石油ストーブの事故に注意！！



事故例と防止策



- 給油タンクをセットする際、灯油が漏れて引火した。
⇒ 給油タンクのふたが完全に締まっていますか？
給油するときは、必ず火を消して下さい。
- 石油ストーブの上に干していた洗濯物が落下して火災になった。
⇒ 石油ストーブを洗濯物の乾燥に使用しない！
カーテンや新聞紙などの近くに置かないで下さい。
- 長時間使用していたら、気分が悪くなった。
⇒ こまめに窓を開けるなど、換気をして下さい。
※一酸化炭素中毒の危険があります。
- 去年の灯油を使用したところ、消火ボタンを押したが、火が消えない。
⇒ 古い灯油は、成分変質のため消火不良になることがあります。
灯油はシーズン中に使い切りましょう。

◎家電製品などのリコール情報のご案内

⇒消費者庁 リコール情報サイト (<http://www.recall.go.jp/>)

※製品の安全使用のため、事業者が回収、修理等を行うものを
情報提供しています。

◎名古屋市消費生活センターでは、商品トラブル
について様々な苦情、相談を受け付けています！

電話

◎平日 052-222-9671

◎土・日 052-222-9690

※受付時間：午前9時から午後4時15分（祝日年末年始を除く）

